

教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)

1 カリキュラムの編成方針

専攻科のカリキュラム・ポリシーは、ディプロマ・ポリシーに示された能力を身に付けることにより、社会情勢の変化にも対応して活躍できる技術者や研究者を育成します。また、専門科目だけでなく広い分野にわたる知識や技術も習得できるよう、以下のようなカリキュラム方針に基づいて編成されています。

- (1) 広い視野を持ち、多様な価値観を理解できる能力を育成するため、各コース共通として「日本学特論」、「技術者倫理」、「地域政策論」、「環境地理学特論」の一般科目を編成しています。
- (2) 自ら考え計画し、能力を総合的に発揮して問題を解決できる能力を育成するため、「創造工学実習」、「実践的デザイン工学実習」、「専攻科研究Ⅰ」、「専攻科研究Ⅱ」を編成しています。
- (3) 専門分野に加えて基礎工学をしっかり身につけた生産技術に関する幅広い対応力を育成するため、「応用代数」、「物理学特論」、「データ解析」、「専攻科実験」、「インターンシップ」等を編成しています。
- (4) 英語力を含めたコミュニケーション力を育成するため、「総合実践英語Ⅰ」、「総合実践英語Ⅱ」を編成しています。英語による論理的な記述、討論などの能力を涵養します。

2 学習方法・学習内容に関する方針

(1) 人文科学、社会科学系科目

講義を主体とした学習方法により教授します。人文科学系科目として「総合実践英語Ⅰ」、「日本学特論」「技術者倫理」等、社会科学系科目として「地域政策論」、「環境地理学特論」等に関わる科目を編成します。学習をとおして、技術者としての責任感、道徳観、豊かな感性等、またグローバルな視点からの国際性を涵養します。

(2) 数学、自然科学系科目

講義や演習を主体とした学習方法により教授します。数学系の科目として「応用代数」、「データ解析」等、自然科学系の科目として「物理学特論」、「環境化学」等に関わる科目を編成します。学習をとおして、専門分野を理解し、さらに進んだ内容についても理解できるようにするために必要な基礎知識を涵養します。

(3) 専門科目

講義、実習、実験、研究を主体として教授する。講義を主とする科目として「材料力学特論」、「センサ工学」、「構造有機化学」等、実習を主とする科目として「創造工学実習」、

「実践的デザイン工学実習」等、実験を主とする科目として各コースでの「専攻科実験」、研究では「専攻科研究Ⅰ」、「専攻科研究Ⅱ」において科目を編成します。学習をとおして、技術者や研究者として必要な知識や技術を涵養します。

3 学修成果の評価

全ての科目はシラバスに明示した学修到達目標を達成するために、試験、小テスト、レポート等を用いて総合的に評価しています。従って、各科目の合格により、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を身につけたと見なされます。

評価（点数等）	基準
優（80点以上）	研究や実践的問題の解決に際して、講義で学修した内容を応用することができる。
良（70点以上）	講義で用いる教科書レベルの演習問題を解くことができる。
可（60点以上）	講義内容に関する基本的な原理、法則、方程式、学説等を理解している。
不可	学術における当該講義の位置づけを理解していない。